

パソコン遍歴

函館市医師会
斉藤内科クリニック

斉藤 勉

今回の胆振東部地震は携帯電話の＜地震です、地震です＞から始まり、停電などのインフラの状況はSNSによりさまざまな情報を手に入れることができた。これというのもコンピュータ進化によるものであり、机上パソコン（PC）から携帯型PC、いわゆるスマホ時代に進化したおかげである。

今では当たり前のようにPCを使っているが、医師になった頃はそのような便利なものは存在していなかった。PCは1970年頃に米国で開発され、1980年代にNECのPC-9801が、そして1990年代にwindows3.1が爆発的にヒットし、大変身近なツールとなった。当時、私は生命表を用いた研究を行っていたが、今と違ってデータ入力、解析、検定に大変な労力と時間を費やした記憶がある。その頃、PCに詳しい後輩がいて、彼らにPCの自作について教えてもらい、次第にのめり込み、休日には秋葉原へ足繁く通い、パーツを買いあさったものである。自作した結果、データ入力などの仕事を自宅で行うようになり、かえって夜更かしの原因となり寝不足が恒常化し、通勤に支障を来した。かなりの台数を自作したが、CPUの世代交代やwindows OSの進化とともに増えていき、ノート型のPCも含め少なくとも30台以上は自作した。その中でどうしても忘れられない1台がある。インターネットが次第に普及してきた頃に、当時としては最高のスペックで組み立て無事に起動できた後、当日が＜中秋の名月＞で、月の表面を写した写真をダウンロードし、壁紙にしたとたんに＜ガウオー＞という叫び声が聞こえたのである。しかし、それ以外何事も無かったのでそのままにし、翌日の起動で、＜Word＞で文章を作成していくうちに文字がコロッと全て横に寝てしまう現象が起きたのである。そればかりか次第にPCの動作がのろくなり、翌日にはほとんどPCとして用をなさなくなり、完全にウイルスに打ちのめされてしまったのである。やむなく再び何時間もかけてフォーマットからOSを立ち上げる羽目になった。当時はウイルスなど全く無縁のものと考えていたが、以降、ウイルスバスターが非常に大切であると考え、今では自院にある全てのPCにウイルスバスターを埋め込んでいる。

大学でそうこうしているうちに父親が癌を発病したと母親から連絡を受け、2000年には東京から帰函し父の医院を継ぐことになった。その当時は紙カルテで、すぐさま電子カルテへ変更すべく院内LAN

を計画し、サーバーも含め4台のPCを作製し、当時最も安価な電子カルテが付随したレセコンソフトをインストールした。当初は順調に稼働していたが、診療報酬改定年度の4月1日に地獄のような苦しみがあった。前日の3月31日までに薬価や検査料など新しい制度に対応すべくレセコンのバージョンアップを行ったのであるが、4月1日の診療開始から事務よりレセコンがうまく稼働しませんというクレームが付き、約1時間近く不具合を直すという作業が勃発したのである。頭が真っ白になり、ソフトメーカーとの電話のやりとりでなんとかこなせた。しかし、このトラブルは1回切りではなく、連続3回の改定年度で、うまくいった年度もあれば、やむなく事務に手作業で計算させて行った年度もあり、まさに修羅場だった。原因は自分のミスもあったが、バージョンアップしたソフトそのものにバグがあり、4回目の報酬改定年度でついに諦め、現在のORCAに変更した。ORCAで初めての改定年度を迎えた4月1日は、ゆったりとした気持ちで迎えられ、もっと早く見切りをつければ良かったと後悔した次第である。振り返ってみればプログラミング言語を含めたソフトの知識が未熟であったと反省している。

その悪戦苦闘していた最中に、病床に伏した父親の気を紛らわせるため、自作のノートPCで囲碁や麻雀ができることを教えたところ、かなり気に入ってもらえた。この囲碁と麻雀のソフトは＜AI麻雀＞、＜AI囲碁＞というタイトルだったが、自分も対戦し、恐ろしく動作が速く、とてもかなわなかった。父親には＜Word＞で戦友へ最後の手紙を書くことも教え、なんとか封書1通を出すことができた。その文面は今でもPCに保存されており、遺書となってしまった。

21世紀になりPCパーツも次第に進化、簡素化され、1時間もしないで簡単に組み立てられる時代となった。その結果、PCのダウンサイジング、記憶メモリーの大容量化とCPUの進化により、PCに無縁の人はスマートフォン、タブレットを、データの集約、解析という巨大な作業を行う人たちはクラウドPCへ向かうことになった。このため、自分のようなPCを自作するマニアは絶滅危惧種になり、いずれ消滅すると思う。しかし、父親が楽しんだ＜AI囲碁＞が、そのまま＜AI医療＞へ進化し、病理診断や画像診断の補助になり、われわれ医師の仕事量が減って楽になるかもしれない。そのうち＜AI診療＞と銘打ったソフトを使う日が近いような気がする。